

# 令和3年度 ひょうご防災リーダー講座受講者募集

～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう！～

近年、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、西日本豪雨災害、台風災害等と大規模災害が全国各地で多発するとともに、甚大な被害が発生し、改めて自然災害の恐ろしさを強く感じます。また、今年は、近畿地方では平年よりも早い梅雨入りとなり、大雨による洪水や土砂災害が危惧されるところです。さらに、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症への備えも必要です。

こうしたことを踏まえ、今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震をはじめとした様々な自然災害や原発事故等の大規模事故、また、市民レベルで考えなければならない感染症対策にも焦点を当て、人命の安全を第一に考え、行政はもとより県民一人ひとりの防災への取り組みをより一層促進させる必要があります。

このような観点から、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「令和3年度ひょうご防災リーダー講座」を10月上旬から約半年間にわたり、計12日間開講します。

本年度の講座の特徴としては、「新型コロナウイルス感染症禍での災害対策」をキーワードに据え、日本の防災分野の一流講師陣による講義に加え、特に突発的な自然災害等に備えるため、自主防災組織等の地域コミュニティが主体となって取り組むことが出来る実践的なプログラムを提供します。地区防災計画づくり、マイ避難カードづくり、避難行動訓練ゲーム、コロナ禍での避難のあり方や避難所設置・運営訓練、地図等（GIS含む）を活用した各種ワークショップ、普通救命講習等バラエティーに富んだカリキュラムを構成しています。

**日 程** 令和3年10月～令和4年3月のうち 12日間

**会 場** 兵庫県広域防災センター

**受講対象** 現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとする方で、兵庫県内在住、在勤、在学（高校生以上）の方  
※過去に防災リーダー講座を修了し、既に「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は応募することができません。

**募集人員** 約90名  
(今年度は、コロナ感染症対策のため、定員を減らしています。なお、毎回、入館時のマスク着用、手指消毒、検温等を実施致します。発熱等体調不良の方の受講はご遠慮願います。)

**申込期間** 令和3年8月2日（月）～定員に達し次第終了

**受講料** 無 料（教材等の一部実費負担あり）

**修了要件** ○右頁、下段を参照願います。

**講座修了後は…** 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただきます。さらに、認定特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。また、居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

**申込方法** インターネットもしくは郵送でお申し込み下さい。  
※インターネットの場合は、広域防災センターホームページ（<https://www.fire-ac-hyogo.jp/>）の「令和3年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページから必ずお申し込み下さい。  
※郵送の場合は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込み下さい。（裏面住所参照のこと）  
なお、FAX での申し込みは受付けません。



## 令和3年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム

※講師等の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。



|                      | 第1時限（10時30分～12時00分）   | 第2時限（13時00分～14時30分）  | 第3時限（14時45分～16時15分）   |
|----------------------|---|--|---|
| 1回目<br>10月9日<br>(土)  | 開講式<br>【開尺に合わない災害対策基本法～抜本的改正の必要性～】<br>【関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏】          | オリエンテーション<br>【施設紹介・自己紹介・役割分担等・ワークショップ】   |   |
| 2回目<br>10月16日<br>(土) | 地域防災とその取組事例について<br>【兵庫県立大学環境人間学部教授 木村 玲玖 氏】   | 地図を生かした地域防災力向上対策について<br>【兵庫県立大学准教授 浦川 豪 氏】   | 地域における災害時要援護者対策<br>【兵庫県立大学教授 阪本 真由美 氏】                                  |
| 3回目<br>11月6日<br>(土)  | 防災体験学習<br>1 講時 ドローンを活用した地域防災について（体験含む）<br>2 講時、3 講時 放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験、備蓄倉庫見学 |  | 【広域防災センター職員】  |
| 4回目<br>11月20日<br>(土) | 地区防災計画と地域防災の実践活動とその課題<br>【関西国際大学教授 川脇 康生 氏】   | 避難行動ワークショップ（EVAG）〈風水害版〉<br>【いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練 EVAG】<br>【国土防災技術（株） 土佐 信一 氏】   |   |
| 5回目<br>11月27日<br>(土) | （10時15分～12時30分）<br>地域防災力向上のための避難所運営（感染症対策含む）ワークショップ（講義及び演習）<br>【兵庫県広域防災センター職員】              | （13時30分～16時30分）<br>【感染症を含む複合災害、避難生活と公衆衛生】（感染症対策時の避難所運営ワークショップ含む）<br>【高知県立大学 看護学部 特任教授 神原 咲子氏】<br>【神戸芸術工科大学プロダクトデザイン学科准教授 曾和 具之 氏】<br>【兵庫県広域防災センター職員】 |   |
| 6回目<br>12月11日<br>(土) | 大規模災害時の複合災害（感染症含む）における避難のあり方（在宅避難含む）について<br>【東京大学大学院准教授 廣井 悠 氏】                             | 地域の防災リーダーとして知っておくべき感染症対策と市民で出来る実践的な応急手当<br>【スリーエム ジャパン 株式会社 安全衛生製品学部 片岡 克己 氏】  |   |
| 7回目<br>12月18日<br>(土) | 地域の自主防災組織における危機管理とタイムライン<br>【東京大学生産技術研究所准教授 沼田 宗純 氏】  | 被災者支援・災害時要援護者対策（ワークショップ）<br>【関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏】   |   |
| 8回目<br>1月8日<br>(土)   | 災害情報が地域と人命を救う一現場で考えた防災—<br>【国士館大学教授 山崎 登 氏（元NHK解説委員）】                                       | 普通救命講習<br>【三木市消防本部・小野市消防本部・広域防災センター職員】   |   |
| 9回目<br>1月22日<br>(土)  | 地域防災と超広域大規模災害に備える<br>【神戸学院大学現代社会学部教授 松山 雅洋 氏】   | 南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震（山崎断層帯地震）について<br>【関西大学社会安全学部准教授 奥村 与志弘 氏】  | 過去の災禍に学ぶ大規模災害への備え～主として都市、産業、構造物の立場から～<br>【名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏】 |
| 10回目<br>2月5日<br>(土)  | 近年の豪雨による水害・土砂災害発生～メカニズムの解明と犠牲者ゼロを目指して～<br>【神戸大学名誉教授 沖村 孝 氏】                                 | 今後の原子力災害対策<br>【京都大学原子炉実験所教授 中島 健 氏】  | 風水害の発生メカニズムとその対応<br>【神戸地方気象台防災気象官】                                      |
| 11回目<br>2月12日<br>(土) | 地域防災と災害ボランティアについて<br>【ひょうごボランティアプラザ所長 高橋 守雄 氏】  | 事例で学ぶ自治体の災害初動対応<br>【元総務省消防庁国民保護・防災部長 明治大学公共政策大学院兼任講師 室田 哲男 氏】  | 兵庫県からの防災・減災施策のお知らせ<br>・マイ避難カードについて<br>・総合治水対策について<br>・フェニックス共済制度について    |
| 12回目<br>3月5日<br>(土)  | 地域の防災リーダーに期待すること<br>【神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏】  | 兵庫県防災士会からの説明閉講式  | 防災士試験（希望者のみ）  |

### ○修了要件

- ① 上記カリキュラム（防災士試験を除く。）の内、3分の2以上の出席
- ② 補完レポートの提出（必須）
- ③ 普通救命講習修了

